

学会 彙 報

(昭和五十四年六月～十月)

生あわせて四十余名

◇佛教学会例会

十月十二日(金)午後四時より

於 二一〇一番教室

研究発表

宴坐の意義

博士課程三回 太田 清史

賢首法蔵の種性論

教授 鍵主 良敬

出席 桜部建教授ほか教員・院生・学生

あわせて四十余名。

◇消 息

◎柏原信行・山下幸一両特別研究員は

七月一日付で本年度日本學術振興会奨

励研究員に採用された。本学受入とし

て、柏原氏には佐々木現順教授が、山

下氏には雲井昭善教授が指導に当る。

◎雲井昭善・長崎法潤各教授、山下幸

一特別研究員は、ゼミ学生を引率して

七月二四日～八月四日の間、インド方

面に研究旅行をした。北インド方面の

佛蹟・博物館・研究所等を見学した。

尚、山下特別研究員は、八月三日、一

行と別れ、宮下晴輝前特研員が現在研

究に従事しているラジャスタン(Jaipur)

Visva Bharati とアーメダバードの

L. D. Institute を訪問し、八月一七日

に帰国した。

◎雲井昭善教授は八月一日～九月一

日までウィーンに出張した。八月一八

日～三〇日まで開催された「発展のた

めの国連科学技術会議(UNCTAD)

」にともなうNGO会議に、日本学

術会議より代表派遣として出席のため。

◇寄贈図書目録(雑誌を除く)

“*Nīlakaṇṭha Lokasvara as the Bu-*

ddhist Apotheosis of Hari-Hara,”

by Lokesh Chandra, own expence,

New Delhi, 1979.

“*Studia Orientalia*”, *Off print from*

vol. 47, by Lokesh Candra, The Fin-

nish Oriental Society, Helsinki,

1977.

“*Hymns to Tārā*”, ed. by. Lokesh

Chandra, International Academy of

Indian Culture, New Delhi.

◇中国社会科学院代表团

任継愈先生を囲む懇談会

六月七日(木)午後三時より

於 第一会議室

テーマ「中国における佛教学佛教史学

研究の現状」

任継愈先生は佛教学者で世界宗教研

究所所長である。

出席 桜部建教授他教員・院生・学生

あわせて六十余名

◇佛教学会例会

六月二十七日(水)午後四時より

於 視聴覚教室

研究発表

Paṭṭhāna と Paccaya

博士課程三回 春田 神静

撰大乘論の造論意趣について

専任講師 片野 道雄

出席 桜部建教授ほか教員・院生・学

“ *Mahāvairocanaśāstraṃ an Ilu-
strated Japanese Manuscript on Mu-
dras and Mantras* ”, by Lokesh Ch-
andra, International Academy of
Indian Culture, New Delhi, 1970.
“ *Text Critical Remarks on the Bo-*

dhisautvāḍṭanabulpatā, (*pullaas*
42-108) ”——*Studia Philologica Bu-
ddhica* Monograph Series II, The
Reiyukai Library, Tokyo, 1979.
『変化観音の成立と展開』
佛教美術研究上野記念財団助成研究

会報告書第六冊、佛教美術研究上野
記念財団助成研究会 昭54
『中世の版本図録』
神奈川県立金沢文庫 昭54